

2022年度第1回鳥居・井上基金助成 活動報告

氏名：増田 雄樹（東京工業大学 理学院 地球惑星科学系）

助成内容：B-海外渡航支援. Goldschmidt2023での研究発表（フランス、リヨン）

期間：2023年7月9日～14日

本文：このたび採択された井上・鳥居基金助成を、フランスはリヨンで開催された Goldschmidt2023 の参加費及び旅費の一部として使用させていただきました。Goldschmidt conference は宇宙化学から環境化学まで様々な geoscience を取り扱っている学会です。8:30 から 17:30 まで開催される口頭発表セッションと 17:30-19:30 に行われるポスター発表セッションというスケジュールが5日間続く大変充実した内容となっています。私は、2日目の Extraterrestrial and related experimental samples: a window into the origin and evolution of the Solar System というサブセッションで「Nucleosynthetic isotopic anomalies of Ti and Cr in fine-grained CAIs from the Allende meteorite」のタイトルで口頭発表させていただきました。これまで3年間、コロナ禍が続いていたため博士3年生ながら自身初の海外学会での現地口頭発表となりました。本番は機械トラブルがあったものの無事発表を終えることができ、発表後にも何人かの研究者に声をかけていただき反響を得ることができました。

昨年ハワイで開催された Goldschmidt2022 にもポスター発表で現地参加しましたが、当時との大きな違いはコロナ禍が収まったことに加え、欧州開催であったため私の専門分野である地球外物質の同位体分析分野で最先端を走っている多くの欧州の研究者が多数参加しており、直接会うことができましたことです。更に、今年はポスター会場でのお酒の提供が解禁されたため、非常に議論が盛り上がりました。リヨンは歴史あるフランスの古都であり非常に落ち着いた場所であったため、5日間集中して学会参加することができ連日充実した日々が続きました。特に、今回は宇宙同位体化学や原始惑星系円盤の同位体進化のモデルに関するセッションが充実しており、海外研究者らとの直接の議論を通して多くの情報を収集することができ、自分の今後の研究の発展に大いに参考となる内容でした。

余談ですが、自身初のフランス訪問だったため、Goldschmidt 開催前の4日間はフランスはパリに立ち寄り、同じ学科の大学院生の方と2人でパリの研究機関を2か所訪問し、研究室の見学とラボのメンバーと、天体物理学と同位体宇宙化学の両側面で濃密な議論を行うことができました。両研究機関共に私たちを歓迎して下さい、非常にありがたかったです。このパリにおける研究機関訪問と Goldschmidt2023 の参加は今までコロナ禍で全く進んでいなかった欧州研究者との個人的なつながりを作る大変重要な機会となりました。直近1年間の物価高で欧州訪問のハードルが学生の間で高くなっている中、このような貴重な経験をさせていただけたのは、井上・鳥居基金助成の一助のお陰です。誠にありがとうございました。

2023年7月17日